

2013年12月発行 EU-Japan News 英文記事（裏面）の参考訳です。

2013年12月18日、日本を代表する文具デザイン会社である株式会社デザインフィル(以下デザインフィル)は、スウェーデンのデザインユニットがデザインしたジッパーバッグの発売を発表しました。この商品は、東急ハンズ、ロフト、伊東屋などの雑貨店や文具店で全国的に販売されます。

この日本・スウェーデン間の国際パートナーシップは、エンタープライズ・ヨーロッパ・ネットワークの支援を得て、成立しました。



デザインフィルは手紙、グリーティングカード、色紙、シール等といった商品や商業デザインを中心としたコミュニケーションツールをプロデュースしています。多くのヒット商品を世に輩出し、国内外の数々のデザイン賞を受賞してきました。

また、「店頭販売に特化したパーソナル文具の専門問屋」である株式会社エムディーエスのグループ企業でもあります。

スウェーデンのデザインユニット Edholm Ullenius(エドホルム・ユレニウス)は12種類のデザインをデザインフィルに提供しました。

**経緯:** 日欧産業協力センターは、エンタープライズ・ヨーロッパ・ネットワーク(EEN)のコンタクトポイントとして、日本=EU企業のマッチングを支援しています。

2012年11月中旬、デザインフィルは、北欧のデザイナーとのマッチング支援を日欧産業協力センターに依頼しました。

11月下旬にデザインフィルは、日欧センターへ「協業リクエスト」を提出し、EENにデザイナーとのマッチング支援を依頼しました。協業リクエストは、北欧地域のEENコンタクトポイントへ配信され、EENのネットワークを活用して広くプロモーションを行いました。

クリスマス・シーズンにもかかわらず、スウェーデンの産業振興機関 Invest in Skåne ABが素早く対応し、5組のデザイナーをピックアップし、過去のデザインワークなどの資料が送られてきました。

2012年の年末、デザインフィルは、デザイナーの仮決定をおこない、詳細を打ち合わせ、2013年2月には正式に契約を締結しました。

現在、日本では北欧デザインの人気が高くなり、北欧の雑貨やインテリアデザインが雑誌によく特集されています。2011年10月27日付けの日経新聞の記事によると：日本の法人向けの文具市場は減少していますが、消費者向け小売市場(B2C)ではデザイン性のある個人向け商品が急激に売上げを伸ばしています。生活雑貨を扱うチェーンストア、有楽町ロフトでは文具売り場を目玉にし、25,000種類の文具を取り揃えています。

デザイン性の高いパーソナル文具市場の急成長に伴い、デザインフィルの関連会社である文具卸業のエムディーエスは2002年から売上高の年間記録を更新し続けています。東日本大地震の影響があったにもかかわらず、2011年度6月度の総売上高は88億7千万円と前年比10%増となりました。2013年6月度の総売上高は99億1千万円でした。

**EEN 利用者のコメント・評価:** デザインフィルの執行役員兼プロダクトグループプロデューサーの中村真介氏によると「北欧デザインに長けている有望なデザイナーを探すには時間が限られていましたが、EENが1カ月で弊社にふさわしいデザイナーを紹介してくれました。」

中村氏によると、商品コンセプトに合ったデザイナーを探すには、少なくとも3カ月はかかるそうです。通常は、エージェントへの依頼、人脈を通じての紹介、インターネットなど、あらゆる手段を使ってデザイナーを探します。限られた時間内で最適なデザイナーを探すことはデザインフィルにとって最も大切なことです。



日本では文具の新商品発表のピークが年2回あり、7月と12月です。当初は、7月の国内最大の文具トレードショー「国際文具・紙製品展2013」で新商品を発表する予定でしたが、諸事情により新商品の発表は12月に持ち越されました。

「私達は、商品企画のコスト管理とパフォーマンスに費やす時間を全て記録に残しています。もし第3者にデザイナー探しを依頼し、従来のプロセスよりもスムーズに最適なデザイナーが見つかるのであれば、それが理想的です。EENは、パートナー探しに最適な解決策を提供してくれました。」

「私達にとって、効率性よりも重要なのは、魅力的で先端的な製品を生み出す素晴らしいデザイナーに巡り合うことでした。」「協業リクエストフォームに私達のデザイナーへの要望がよくまとめられており、それを受けてスウェーデンのEENパートナーが最適な候補を見つけてくれたのだと思います。」

「私達の社内にもデザイナーはいます。しかし、このジッパーバッグ企画には北欧文化のテイストがどうしても必要でした。Edholm Ulleniusのデザインは、私達の期待以上に商品を素晴らしいものにしてくれました。Edholm Ulleniusのデザインの評判が良ければ今後も取引を続け、新たな商品を共同して企画していきたいと思っています。」